

よい会社をつくらう よい経営者にならう よい経営環境をつくらう

6

June
2019

山形県中小企業家同友会

月刊 同友

やまがた



2020共同求人活動 合同企業説明会
中小企業の魅力を発信し、地域に若者を残そう!



よい会社 よい経営者 よい経営環境をめざす
中小企業経営者の全国組織

2019年度スローガン

備えよう、次のステージへ

～ポスト2020年～

第33回寒河江支部総会

NEXT ～次代に挑むために～

5月21日、ホテルシンフォニーアネックスを会場として第33回寒河江支部総会が開催され、支部内外、他団体から49名が参加しました。

第1部の総会では、「NEXT ～次代に挑むために～」をスローガンに掲げた2019年度活動方針が決まりました。

活動の先頭に立つ役員として、支部長には大泉拓也氏が選任、副支部長には井田進一郎氏が再任、阿部敦氏が選任されました。

第2部の記念講演では「社員と共に歩む企業経営」と題して、株式会社サイコー 代表取締役 齋藤隆志氏(宮城同友会会員企業)を講師にお迎えし、ご講演頂きました。

サイコーは宮城県仙台市で廃棄物処理、古紙回収等を展開しています。専務として入社した際、高い離職率に悩み、「社長に『社員を大切にしたい』の思いはあるが、伝わっていないし行動化されていない」ことに気づきます。そこで経営理念、経営方針に基づき社員に向き合いました。理念の共有と実践を第一とし、たとえ変革が難しいことでも会

社を変えようとする気概を社員に伝えるようになりました。そして経営理念に基づき、社員教育、地域貢献、社内委員会などに取り組み、できることから着実に実施。結果として売り上げも社員定着率も向上しました。

齋藤氏は最後に「『何とか変えていくんだ』『こうしたいんだ』と社員に伝えない限り、会社は一足飛びでは変わらない。やれることが限られている中で、社員の理解を得て一緒に歩いていくのが経営だと思う」と締めくくりました。質疑応答の時間も設けられ、さらに学びが深まる記念講演となりました。



第5回新庄最上支部総会

新たな時代とともに未知の可能性を見出し潤いのある地域に繋げよう！



5月20日、ニューグランドホテルを会場として第5回新庄最上支部総会が開催され、支部会員数を上回る24名が参加しました。

総会では、「新たな時代とともに未知の可能性を見出し潤いのある地域に繋げよう！」をスローガンとした2019年度活動方針が採択されました。役員には支部長として田中雅樹氏、副支部長には涌井洋一氏、佐藤奈緒氏、柴田慶一氏が再任されました。

記念講演は、株式会社ヴィ・クルー 代表取締役 佐藤全氏(宮城同友会白石蔵王支部理事、中同協共同求人副委員長)より「地域に人を残すために地元企業ができること」の演題で講演をいただきました。

佐藤氏は後継者としてお父様の会社に入社し、労使不信の悪循環を断ち切るため、「夢を語ろう」と一念発起。シェア拡大を宣言し、実際に達成しました。専務に就任すると宮城同友会の経営指針を創る会を受講し「身の丈を超えた夢を描く」ことを決意。新価値創造を考え、部門を(株)ヴィ・クルーとして独立しました。

ビジョンの実現に向かう中で、震災を機に地元白石の課題に向き合いました。若者流出などの課題解決のために、支部メンバーで地道な共同求人活動を展開するとともに、行政に働きかけ、中小企業振興条例制定に繋がりました。制定後も支部に打診があり、指針やビジョンを明文化している同友会企業の強みを生かし、地場産業の課題解決につなぐ社団法人を立ち上げ、事業を展開しています。

佐藤氏は最後に「同友会の経営指針、共同求人、社員共育はすべて実践しなければならない。企業が身の丈を超えた夢を描くことが地域の希望にもなる。次、皆さんとお会いした時は『うちの地域、少し良くなったね』と語り合いたい」と呼びかけ、盛会のうちに記念講演が終了しました。

中小企業の魅力を発信し、 地域に若者を残そう！



2020年3月卒業予定の大学・短大・専門学校生を対象とした共同求人活動がスタートし、山形同友会共同求人委員会主催の合同企業説明会を山形テルサに於いて3月26日と5月16日の2回開催しました。合同企業説明会開催に向け、2月に「就職担当者との就職懇談会」を開催し、大学・短大・専門学校の担当者の方と情報交換を行い、3月には「ジョブウェイ山形2020就職情報誌」を発行し、県内外の学校を訪問しPR活動を行いました。

3月26日の第1回目には、20社の企業が参加し学生の参加人数は14名(うち、大学生14名)、5月16日の第2回目は、21社の企業が参加し学生の参加人数は16名(うち、大学生10名、短大生2名、専門学生4名)でした。昨年に比べ参加学生数が減少傾向にあるものの、参加した学生は時間いっぱい企業ブースをまわる姿が見られ、学生と経営者・採用担当者がじっくりと語り合い自社と中小企業の魅力を伝えました。

説明会に先立って行われるガイダンスでは、参加企業1社ずつPRタイムが行われ、経営者・採用担当者自ら会社の理念・ビジョン・会社概要などを伝えます。この時間が学生からは好評で、PRタイムで興味を持ちブースへ訪問・応募へつながるケースもありました。

また、今年度の合同企業説明会の大きな特徴として、山形県より担当者にお越しいただき、県と同友会が連携して取り組んでいる「山形県若者定着奨学金返還支援事業 産業団体連携枠」の説明を中心とした「奨学金返還相談ブース」を設置しました。学生のみならず企業側もブースに座り説明に耳を傾けていました。最近では学生の約半数が奨学金を借りており、就職先を探す際にも大きな障壁となり、中小企業へ目が向かなくなっている現状があります。同友会としても今後も継続して県と連携しながら若者が地元へ就職しやすい環境づくりに取り組んでいきます。

参加学生からは「山形の中小企業を知ることができ、山形で働きたいという気持ちになった」「就職活動の視野が広がった」という声が寄せられました。学生は直接話を聞くと中小企業のイメージが変わる傾向があり、今後も継続して地元の中小企業の魅力を伝える場が必要です。

今年度の同友会主催の合同企業説明会は終了となりますが、秋には山形大学・東北芸術工科大学と連携して学内での合同企業説明会も予定しています。また、共同求人委員会では随時学校訪問を行い、学校の就職担当者との情報交換を通して自社と地元中小企業の魅力を発信しています。自社の持続・発展のためにも、共同求人活動と一緒に地域に若者を残す取り組みを推進していきましょう。



第1回女性部例会開催

働きやすい会社と職場をつくるために何をすべきか



5月15日、2019年度第1回女性部例会が、同友会事務局で開かれました。女性部会では、経営者の感性を高め、働きがい・生きがいのある会社をつくろうと学びあいを重ねています。

開会挨拶に立った赤塚治美女性部会長は「今年度の女性部スローガンは『女性リーダーとして成長し、生き活きと働けるワーク・ライフ・バランス実践企業を会内に広げよう』です。ワーク・ライフ・バランスを整え、生きがいを仕事を通して感じられる企業づくりが学べるようにしていきたい。また、このテーマを山形同友会内に広げていきましょう」と述べた後、2019年度女性部方針について説明しました。



続いて、(株)アイン企画 代表取締役 松岡友路氏が、「働きやすい会社・職場づくりのために何ができるか？」をテーマに報告しました。総合企画・広告代理店の同社は「Your Best Partner」を企業理念として、地域

経済を活性化するために何をすべきかを考え、地域社会に暮らす人達に、より豊かで幸せになってもらうための地域情報を発信しています。20名の社員のうち女性が63%、平均年齢36歳で、子育てしながら働いている方が多い会社です。

松岡氏は「みんな幸せになりたい。だから幸せになれる会社をつくらなければならない。一人ひとりがどういう人生

にしたいかが、一番大切」と、入社時から社員にそのことを問いかけ、ライフプランで考えるように取り組んでいます。

社員の働きやすい環境整備に本格的に取り組んだきっかけは、離職者が多かったこと。人材定着率を向上させ社内を活性化させるためにどうすればいいかと現状分析をすると、「①ルールがないためマネジメントできる人がいない②研修指導がないため売れる人と売れない人がでてくる③社員のプロ意識が弱い④社員がキャリアアップのために求めている能力と社員が求める環境が明らかになっていない」といった点が挙がってきました。

その課題解決のために松岡氏は、全国の同業を調べて学びに行き、社員を評価するのではなく、社員自らが成長できることを目的とする制度をつくり、マネジメントする人の育成と、どうしたら成長するのかの見える化を図ります。

松岡氏は「みんながHAPPYになるためには人を生かす経営の実践。それぞれの企業に適した内容で人が成長する仕組みをつくること。当社では、教え方ができていなかった。キャリアアップの仕組みをつくり、マネジメントできる人材を育成することで、人を育て成長できる会社になる。働きやすい会社とは仕事のやりがいと自己成長とコミュニケーション。そして、すべての社員が充実した人生をおくることのできる環境をつくること。それができないかは、全て経営者の責任」と締めくくりました。

グループ討論では、「働きやすい会社、職場づくりのために何ができるか」について話し合われました。会社にキャリアマップなど、ある程度の仕組みはあるが生かし切れていない、社員に浸透しないといった現状からマネジメントする方の育成環境づくりの課題などの意見交換が行われました。

最後に、「働きやすい会社にするためには、気づく目と耳を持ちましょう。そして、そういう気づく仲間を増やしていきたいでしょう」と白鳥座長が提起しました。



6月例会のご案内

・どの支部の例会にも参加できます。・月に一度は参加しましょう。

山形支部

半径10分圏内で仕事を掘り起こし、地域密着でガッツリ！
地域を良くしたいという志が、社員を育て顧客を増やし企業連携を生む。

2019.6.27(木) 18:30~21:00

場所：山形テルサ リハーサル室
山形市双葉町1丁目2-3 ☎023-646-6677

報告者：(株)落合建設 代表取締役社長 落合靖巳氏(北海道同友会)

今回の例会は、今期の新しい取り組みです。「地域貢献を考えている」「新しい販売策を模索している」「業績が伸び悩んでいる」、このような方、必見です！今回お呼びするゲスト講師は、札幌市東区の建設業仲間を中心に「地域の役に立てる元請け建設業を目指そう！」を合言葉に、平成22年5月に「住まいる110番（地域密着型建設業組合）」を立ち上げた、(株)落合建設、落合靖巳社長。当初5社だった参画企業は32社（内同友会会員は19社）となり、毎月の例会や地域感謝祭・町内会祭りの手伝い等を中心に活動を行っています。活動が拡散して広がっていくのも、同友会の理念にある人間尊重の経営に賛同する仲間が仕事を繋いでいくから。

他社・他業種と連体・協力で、地域と自社の発展について学びます。社員の方も参加し、共に新規業務展開について学び、話し合ひましょう。お誘い合わせの上、ご参加ください。

寒河江支部

業績アップのための計数の見方
～これだけ見ればOK!～

2019.6.20(木) 19:00~21:00

場所：寒河江市技術交流プラザ
寒河江市中央工業団地153-1 ☎0237-86-1991

講師：(有)奥山経営センター 代表取締役 奥山 享氏(山形支部)

寒河江支部 6月例会では、山形より奥山享税理士を講師に迎え、経営者が抑えるべき計数のポイントと、業績向上のための視点を提起していただきます。

どのような視点をもって会社を成長させていくのかを考え合ひます。大きく変化している今の時代、必見です。お誘い合わせの上、ご参加ください。

さくらんぼ支部

みんなでつくる楽しい会社って？
～社員の自主性を引き出す仕組みづくり～

2019.6.27(木) 18:30~21:00

場所：まなびあテラス 講座室
東根市中央南1-7-4 ☎0237-53-0223

報告者：(株)菓子工房COCOイズミヤ 代表取締役 庄司薫氏(置賜支部)

さくらんぼ支部では会員さんの悩み・課題に沿った内容で例会を開催しています。2019年度最初の例会は、「人が楽しく仕事をする環境づくり」について考え合ひます。

報告者として置賜支部から(株)菓子工房 COCO イズミヤの庄司社長をお迎えし実践報告いただきます。庄司氏は経営指針を作成するも業績は思ったとおりにはいかず、焦る毎日…。それでもあきらめず、同友会で学んだことを会社に持ち帰り、少しずつ仕組みをつくってきました。毎月の会議では管理項目を決め、データを収集し、その数字を社員と共有することにより定期的に成果と改善点について話し合う場になっています。今では社員から「楽しい」と発言が出るほど社員の自主性が発揮され、スタッフ一人ひとりが輝く職場に変わってきています。家庭を持った女性だけの職場で、社員と共にみんなできつくり上げる社風の会社づくりに取り組んでいる庄司社長の報告です。ぜひ、お誘い合わせの上ご参加お待ちしております。

置賜支部

次世代につなぐ市場創造
～社員と共に価値をつくり商品をつくる～

2019.6.13(木) 18:30~21:00

場所：置賜総合文化センター 301研修室
米沢市金池3-1-14 ☎0238-21-6111

報告者：酒田米菓(株) 代表取締役 佐藤栄司氏(庄内支部)

「オランダせんべい」で知られる酒田米菓(株)は、昭和26年の創業以来、地元特産品である米を主軸とした米菓製品を製造・販売してきました。戦後の日本では食の欧米化が急速に進み、さらにスーパー・コンビニの台頭によって流通が大きく変化する中で、「創って造って売る」方式に転換。工場見学・体験を売りにした観光事業、海外への販路拡大をはじめ、商品の機能性に着目した商品づくりなど、価値創造に取り組んでいます。「米文化」を次の時代に伝えることを使命として、社員と意思統一を図りながら奮闘する佐藤社長より報告していただきます。お誘い合わせの上、ご参加ください。

庄内支部

社員と〇〇〇を合わせて会社をよくする方法!(仮)
～社員が力を発揮できる職場づくりを学ぶ～

2019.6.21(金) 18:30~21:00

場所：鶴岡市総合保健福祉センター「にこ♡ふる」
鶴岡市泉町5-30 ☎0235-25-2731

報告者：ハンズバリュー(株) 代表取締役 島田慶資氏(山形支部)

詳細は別途ご案内致します。

新庄最上支部

誰もが心配なく働ける職場を目指して
～経営指針の実践で隣接異業種にトライ!～

2019.6.17(月) 18:30~21:00

場所：新庄市民プラザ 小ホール
新庄市大手町1番60号 ☎0233-22-4200

報告者：齊加商店 代表 齊加義三氏(さくらんぼ支部)

最初は自分と家族の3名で始まった齊加商店。6年前、同友会の「第17期経営指針をつくる会」を受講。経営指針書を作成したことで自社の変革が始まります。明文化した経営理念に向き合いながら会社の計画を作ることでも自社のビジョンが明確になり、家業から企業へ脱皮することができました。

そして中小企業庁の経営革新支援の認定を経て隣接異業種に参入。「おいしさの物語をつくることで、笑顔が溢れる未来に貢献する」という思いを掲げ、新たなステージ作り挑戦する齊加代表ですが、そこには常に同友会での学びが生かされていました。

同友会に参加し続けたら経営者の本当の仕事を理解し、さらに経営が楽しくなった事例。是非ご参加ください!

第1回理事会報告

◆日時:2019年5月8日(水)午後3時~午後4時30分 ◆会場:山形同友会事務局 ◆議長:後藤副代表理事
◆出席者:(敬称略)西塔、川合、菅原、後藤、志田、齋藤、赤塚、阿部(秀)、石川、板垣、伊藤、大泉、斉加、笹林、佐藤(淳)、佐藤(栄)、佐藤(啓)、柴田、庄司、武内、田中、玉津、服部、松岡、八代、事務局 矢作、後藤、芳賀

■開会挨拶

川合代表理事より「本年度最初の理事会です。令和元年を迎え、改めて同友会理念を企業にも取り入れ、役員が会社をよくして見本となる経営を行っていただきたい。また、同友会が時代に必要とされるようになってきている。同友会運動を広げていくことが自社にとってもプラスになっていきます。終了後には役員オリエンテーションを行います。疑問や改革が必要な点について忌憚のない意見を出していただきたい」と挨拶がありました。

■報告事項

1)第35回定時総会参加者

副実行委員長を務めた志田副代表理事より177社209名の参加申込で199名が出席した報告と5/16に実行委員会を開催し、6月理事会にまとめと収支を提案する報告がありました。

■承認事項(入・退会承認) 3名入会 2名退会 5/8現在413名

■討議事項

議題1:組織目標達成に向けて

菅原代表理事が組織委員会の報告をし、各支部で今年度の組織目標と実行計画を6月の組織委員会まで作成し、年度目標488名に向けて協力をお願いしながら取り組んでいくこと、5月に行われる各支部の総会で記念講演へのゲスト参加を呼び掛けていくことを確認しました。

議題2:2019役員研修会について

川合代表理事より提案があり、下記の開催要項が決まりました。

1)第1講

- 日時:8月27日(火)13:00~17:00
- 会場:TISカンファレンスセンター
- 講義担当:菅原茂秋氏

2)第2講

- 日時:9月19日(木) 13:00~17:00
- 会場:TISカンファレンスセンター
- 講師:鋤柄修氏

3)幹事オリエンテーション

支部	日時	会場	担当
山形支部	6月4日(火)18:30	同友会事務局	川合代表理事
寒河江支部	6月3日(月)19:00	寒河江技術交流プラザ	後藤副代表理事
さくらんぼ支部	6月4日(火)14:00	(株)東北テレネット	齋藤専務理事
置賜支部	6月7日(金)18:00	心那や	志田副代表理事
庄内支部	6月11日(火)17:00	(株)板垣水道	齋藤専務理事
新庄最上支部	7月幹事会にて開催		

議題3:第4次中期ビジョン作成について

後藤副代表理事から常任理事・各支部長・各委員長・各部長をメンバーとして、8月より毎月1回の委員会を開催して作成することが提案され、承認されました。

議題4:全県での学習会の実施について

菅原代表理事から企業経営に必要な学習の場づくりとして、BCP計画作成の学習会(7月)、税制の学習会(後半)を開催することが提案され、承認されました。

議題5:サクラマスプロジェクトの後援依頼について

山形県の高校・大学を卒業し、進学・就職のため県外転出した若者が、また山形に戻ってこられるように、企業・行政・教育機関・保護者が一体となって、若者がUターンしやすい環境を整えるサクラマスプロジェクトに後援することが決まりました。

■その他

- 1)第9回さらやか経営者セミナー(6/6)に川合代表理事が来賓として出席
- 2)令和2年3月高等学校卒業予定者を対象とした求人確保のための訪問要請に川合代表理事と佐藤共同求人委員長が対応
 - 日時:5月16日(木)午前9時
 - 訪問者:山形労働局長 河西直人氏、山形県商工労働部次長 大通薫氏
- 3)9月2~3日、東京で開かれる女性部連絡会で赤塚部会長が報告。
- 4)10月に福島にて開かれる東北青年経営者フォーラムで佐藤青年部会長が報告者を担当
- 5)各支部総会の予定

支部	日時	会場	記念講演講師
第5回新庄最上支部総会	5月20日(月)17:00	ニューグランドホテル	(株)ヴィークルー 佐藤全社長
第33回寒河江支部総会	5月21日(火)17:30	ホテルシンフォニー アネックス	(株)サイコー 齋藤孝志社長
第33回山形支部総会	5月23日(木)15:00	山形国際ホテル	村山産業高等学校 東海林啓教諭
第23回置賜支部総会	5月24日(金)17:00	ホテル モントビュー米沢	南奥山経営センター 奥山厚税士
第25回さくらんぼ支部総会	5月27日(月)17:30	さくらんぼランドホテル	(株)海の湯ホテル 山口敦史社長
第28回庄内支部総会	5月28日(火)17:00	グランドエルサン	山形大学 松坂暢浩准教授

6)今後の予定

第2回合同企業説明会	5月16日(火)13:00~山形テルサ
第24回経営指針をつくる会開講	5月25日(土)9:00~ホテルシンフォニー
中同協・中小企業憲章キックオフ会議	6月4日(火)東京
中同協・第5回幹事会	6月5日(水)東京
中同協・緊急事務局長会議	6月5日(水)東京
第22回女性経営者全国交流会 目標:5名	6月13日(木)~14日(金)広島
中同協・第51回定時総会 目標:15名	7月4日(木)~5日(金)東京
中同協・第1回幹事会	7月5日(金)東京
北海道・東北ブロック支部長・地区長交流会	7月25日(木)~26日(金)福島
北海道・東北ブロック代表者会議	7月26日(金)福島

7)次回理事会

- 日時:6月10日(月)15:00~17:00
- 会場:同友会事務局


※今後の理事会日時が7月10日、8月21日、9月11日であることを確認しました。

理事から、理事会、全国行事など、数か月先であっても日時が決定している場合はe.doyuに登録をお願いしたいとの意見がありました。検討の上反映します。

※議事終了後、参加者全員の挨拶並びに自己紹介がありました。

■閉会挨拶

菅原代表理事より「新役員の方々とともに今年度を迎えることができた。素晴らしい年になるように祈念する」と閉会挨拶がありました。



会員変更

おおば

◇ **大場 康平氏**

(株)大場広告美術
代表取締役
屋外広告業
山形支部

たけだ

◇ **武田 晃氏**

きらやかコンサルティング&パートナーズ(株)
代表取締役社長
コンサルティング・人材育成支援
山形支部

あきら

◇ **平形 洋司氏**

(有)スエヒロ
代表取締役
放課後等デイサービス
庄内支部

●田宮印刷(株) 常務取締役営業部門統轄 阿部和人氏 ⇒ 営業部副部長 まえた あきら **前田 晃氏(山形支部)**

●農業組合法人 村木沢あじさい農園組合 代表理事組合長 開沼雅義氏 ⇒ さとう せいいち **佐藤 清一氏(山形支部)**

●(株)国際自動車 山形最上ドライビングスクール 校長 三浦英治氏 ⇒ こまつ しげる **管理者 小松 茂氏(新庄最上支部)**

同友やまがた6月号 (2019年6月1日発行/通巻315号)



〒990-2161 山形県山形市大字漆山字大段1865-5 TISビルディング201
TEL (023) 615-8302 FAX (023) 615-8304
URL: http://yamagata.doyu.jp/ E-mail: info@yamagata-doyu.jp